



日本バルカー工業株式会社 協力工場

# 平田パッキン工業株式会社

## 製品案内



本社工場	大阪府豊中市原田南1-4-1 TEL 06-6866-7949 FAX 06-6866-1944
九州工場	福岡県京都郡苅田町磯浜町2-10-13 TEL 093-434-6631 FAX 093-434-6633
山口工場	山口県玖珂郡玖珂町字瀬田1600番18 TEL 0827-82-5960 FAX 0827-82-5962
千葉工場	千葉県市原市千種海岸18-1 TEL 0436-20-7255 FAX 0436-20-7250

# 平田パッキン工業株式会社 はどんな会社？

1962年、大阪府豊中市に日本バルカー工業株式会社の専属工場として産声を上げ、本年で創立38年目を迎えます。創立時の社員数は8名でしたが、現在では4工場で132名と成長させて頂きました。

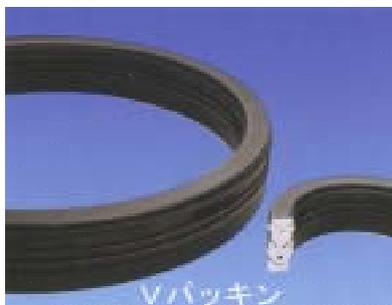
当初の取扱品はジョイントガスケット関係のみでしたが、今日に至ってもジョイントガスケットは当社の4工場のすべてで取り扱っている主力製品です。現在はウォータージェットやCAD対応の最新のCuttingマシンを導入し、より正確に美しい製品ができるようになり、客先のニーズに合わせて形状・寸法等、どのような製品も加工するノウハウを持っております。



1965年 本社工場が移転し、それまで僅かだったバルフロン加工に切削加工部門を増設し加工範囲を拡充しました。切削加工でVリング（#7631）、Oリング（#7640）等のもとより、あらゆる形状の#7160の加工も始めました。移転前より取り扱っておりました#7010等のバルフロン平型ガスケットも、現在は融着技術を習得し大口径の製品が製作可能となりました。



V#7160 バルフロンガスケット  
V#7010 バルフロンガスケット



Vパッキング



バルフロンジャケットガスケット



デルリン



バルフロンOリング



V#7010 バルフロンガスケット

1969年 九州工場を開設し、バルフロン加工を主にジョイントガスケットの加工を始めました。



ローター



ウエハー移動器



ディストリビューター



バルフロン切削ベローズ

1970年 本社工場にてパッキンツールとガスケットカッターの取り扱いを開始しました。



1972年 本社工場にて#7031の加工を開始しました。

1974年 本社工場にて各種ジャケットガスケットのODS（外周融着）加工を開始、取り扱い製品の範囲がさらに広がりました。



1980年 九州工場が新設拡張移転しました。拡張に伴い加工範囲も拡大しました。

機械設備としてNCフライスの導入、バルフロンの溶接技術の習得で半導体製造関連の部品の加工も出来ることとなりました。また1200マルの加工が出来る正面盤を導入し、大型の加工も可能となりました。その他、エンジニアリングプラスチックや汎用樹脂の加工も手がけております。

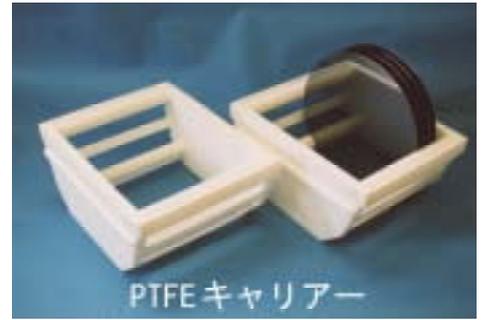




プッシャー・ティース類



HF ミスト抽出槽



PTFE キャリアー



PFA 溶接キャリアー



PFA 一体成型槽  
アッセンブリー

九州工場では半導体製造関連等の循環装置類の組立・設置の業務を開始しました。



弗酸恒温循環装置



過水循環装置



冷却蓋開閉槽



定量供給装置

1985年 本社工場は現在地に移転拡張し、バルフロン加工部門等をさらに強化しました。また、ノンアス専門工場を新設し、顧客のニーズに合わせた体制づくりを進めております。



1989年 山口工場を移転拡張しました。ジョイントガasketの加工設備を充実させ、地域営業のフォローを厚くしました。1999年、バルカー中国営業所も併設され中国地域の核として発展致します。



1998年 千葉工場をジョイントガasket加工の工場として開設しました。翌1999年には日本バルカー殿の支援の下、千葉工場はバルフロンを中心とした樹脂加工を開始する為の移設・増設の企画をたてました。

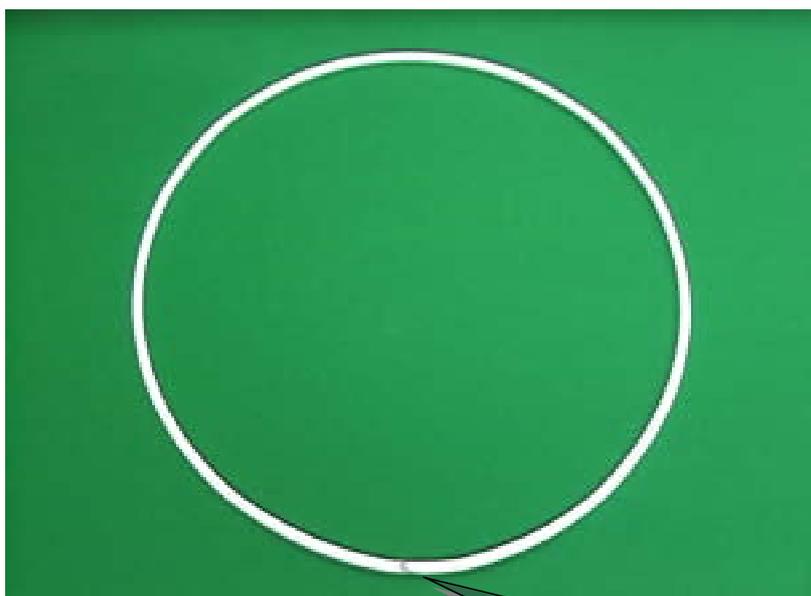


(2000年3月完成)敷地面積1,285坪、工場延床530坪

2000年 新千葉工場は当社最大の工場として3月中旬竣工致しました。東日本を中心としたあらゆる需要に対応すべく構築致しております。

新たなるチャレンジ体制で、バルカーグループの一翼を担うべく邁進する当社の活動に御支援の程、よろしくお願い致します。

2001年3月 大東パッキン(株)よりOリング融着が本社工場に移管されました。1000 以上で  
切削できない製品に対応可能で、最小製作可能範囲は500 までとなっております。



# 当社の特別産業廃棄物の取り扱いについて

当社で発生した産業廃棄物の処理は全て「米田産業株式会社」に依頼しています。「米田産業株式会社」は回収から中間処理、最終処分までを行うリサイクルセンターで、当社の創業次年度よりのおつきあいとなっております。

## 処理のフローチャート



## 米田産業株式会社での作業の流れ



① 廃棄物集積コンテナ(当社敷地内)



② を上から見た写真



③ 分別ゴミ集積ドラム(当社敷地内)



④ 集積された産業廃棄物



⑤ シャベルで粉砕器に投入する



⑥ シャベルで粉砕器に投入する



⑦ コンベアで選別場所へ送る



⑧ 燃えるゴミと燃えないゴミを選別する



⑨ 最終処分(埋め立て)へ